



# — 滋賀の水環境ビジネスの取組について

令和3年度(2021年度)

滋賀県商工観光労働部商工政策課

## ①アジア分科会

### ■アジア分科会とは：

アジアの水環境課題や現地ニーズについて調査を行い、会員企業に情報提供することにより、同地域でのビジネス展開について検討する分科会。

### ■会議の開催状況：

#### ①第1回アジア分科会

令和3年(2021年)8月24日 [於]オンライン [参加者数]9名

#### ②第2回アジア分科会

令和4年(2022年)1月18日 [於]滋賀県庁 [参加者数]9名



会場の様子

## ②研究・技術分科会

### ■研究・技術分科会とは：

平成29年4月の国立環境研究所琵琶湖分室の設置を契機として、滋賀県では、国立環境研究所琵琶湖分室と連携し、琵琶湖の水・湖底環境の健全性評価に関する調査研究や在来魚の生息状況に関する調査研究を実施している。その成果等を、企業や大学などの研究機関との協働のもとで、水環境ビジネスに関連する技術開発や水産業の振興につなげていくために設立した分科会。

### ■会議の開催状況：

#### ①研究・技術分科会「生物の持つ特徴を活用した造水技術の実用化に向けて」

令和3年(2021年)11月16日 [於]ピアザ淡海 [参加者数]7名

#### ②研究・技術分科会「排水資源の活用による豊かな地域環境の形成や地域課題の解決を目指した水環境ビジネスの展開に向けて」

令和4年(2022年)3月9日 [於]オンライン [参加者数]16名

## ③滋賀県水環境ビジネス海外展開事業化モデル事業(しが水環境ビジネス推進フォーラム会員)

プロジェクト名	対象国	実施期間	メンバー(◆:申請企業)
ベトナム・アンザン省内水産養殖汚泥リサイクル実証実験	ベトナム	令和3年(2021年)6月 ～令和4年(2022年)2月	(有)ヴァンテック◆、栗東総合産業(株)、龍谷大学
ベトナム国 工業団地における簡易水質分析サービス事業の実現可能性調査事業	ベトナム	令和3年(2021年)6月 ～令和4年(2022年)2月	(株)テクノサイエンス◆、オプテックス(株)
インド・タイにおけるDXを活用した水質モニタリング提供サービス(サブスクリプション事業)の実現可能性調査	インド、タイ	令和3年(2021年)6月 ～令和4年(2022年)2月	オプテックス(株)◆、テクノサイエンス(株)
ベトナムにおける微生物・植生による水質浄化事業	ベトナム	令和3年(2021年)7月 ～令和4年(2022年)2月	大洋産業(株)◆、KBM

## ④JICA草の根技術協力(地域活性化特別枠)事業の実施

- 事業名: 琵琶湖モデルを活用したハロン湾・カットバ島沿岸水域の適切な保全に向けた支援
- 対象地域: ベトナム国ハイフォン市カットバ島
- 実施期間: 令和2年(2020年)3月～令和5年(2023)年2月
- 実施体制: 滋賀県、(株)KANSOテクノス(大阪)、(株)エフウォーターマネジメント(大津)、(株)長大(東京)、(株)日吉(近江八幡)
- 協力団体: 大阪府立大学、(公財)国際湖沼環境委員会
- カウンターパート: ハイフォン市人民委員会、カットハイ郡人民委員会
- 事業内容:
  - フェーズ1(2015年3月～2017年3月)ではカットバ島の水環境悪化に対応するため、「琵琶湖モデル」を応用して産官民が連携する枠組みづくりを支援した。フェーズ2では、カットバ島で予定される大規模リゾート開発に伴う水環境への影響を軽減するため、「琵琶湖モデル」を応用して、ノウハウ向上(排水処理施設や環境モニタリング)や産官民の活動強化を支援する。
- 令和3年度の主な活動
  - ・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、オンラインを中心に活動。
  - ・令和4年3月にオンラインでプレキックオフミーティングを実施。

## ⑤「しが水環境ビジネスセミナー」の開催

■日時： 令和3年(2021年)8月30日(月)14:00～16:00

■開催方法： オンライン

■タイトル： ベトナムおよび中国における水環境課題とビジネスチャンス

■プログラム：

- ①ベトナムにおける水環境政策の動向と技術ニーズ(独立行政法人国際協力機構 安達一郎氏)
- ②ベトナムでの水環境プロジェクト事例紹介(オプテックス株式会社 田中克彦氏)
- ③中国における水環境政策の動向と技術ニーズ(ACROSS JAPAN株式会社 及川英明氏)
- ④清華大学の水環境関連の研究紹介(清華大学環境学院 胡洪宮教授)

■参加者： 50名



セミナーの様子

## ⑥メッセナゴヤ2021へ「フォーラムパビリオン」として出展

■日程： 令和3年(2021年)11月9日(火)～11月13日(土)

■会場： ポートメッセなごや

■規模： 840企業・団体が出展。来場者36,868人。

■内容：

- しが水環境ビジネス推進フォーラムの「フォーラムパビリオン」には4者が出展。
- フォーラム事務局ブースでは、滋賀の水環境ビジネスの取組や滋賀県のこれまでの琵琶湖保全の取組などを紹介。



会場の様子



滋賀県ブース

## ⑦水・環境ビジネス商談会

- 開催期間: 令和3年(2021年)11月29日(月)～令和4年(2022年)2月25日(金)
- 開催方法: オンライン
- 主催: 滋賀県、ジェトロ大阪本部・滋賀貿易情報センター
- 協力: 大阪府、Team-E Kansai、大阪 水・環境ソリューション機構
- バイヤー: ベトナム9社、中国7社、インド10社、パキスタン8社
- 日本企業: 102社(延べ)
- 内容:

- ・海外企業との確度の高いビジネスマッチングを実現するため、参加企業の製品情報シートを基に、現地専門家を通して有望バイヤーへ事前のニーズ調査を実施。
- ・平成30年度まではバイヤーを招聘し、対面で商談会を実施していたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、オンラインで実施。

関西水・環境ビジネス海外展開加速化プロジェクト JETRO

**中国**  
水・環境分野  
オンライン商談会



ジェトロ滋賀、ジェトロ大阪本部、滋賀県は、水・環境ビジネス分野での関西を中心とした日本企業の海外展開をより一層支援するため、当分野のEPC、O&M、ディストリビューターなどの海外企業との商談をアレンジする「水・環境分野オンライン商談会」を開催します。今回はその2021年度第二弾として中国企業とのビジネスマッチングを実施します。ぜひご参加ください。

**開催期間** 2021年11月8日～1月28日  
※商談日程は事前マッチング後、バイヤーと参加企業の都合の良い日時に調整  
 ※中国との時差により、一日全時間の分岐-18時30分以降で商談を調整します。

**商談先** 中国バイヤー5～10社程度  
 (EPC、O&M、ディストリビューター等)  
※バイヤーの詳細は逐次、JETROのWebサイトにて公開

**対象分野・製品** 水・環境関連製品・技術

**参加無料**  
逐次通知有

**定員** 30社

**オンライン商談までの3STEP** ※利用アプリはZoomまたはMicrosoft Teamsを予定。3STEPで貴社のオフィスと中国企業を繋ぎます!

STEP1. まずは応募条件を確認いただき、申し込みページ(裏面URL)からお申し込み

STEP2. 商品情報シートをメールで提出。「事前マッチング方式」でミスマッチを減らします。

STEP3. 事務局が日時調整後、参加URL等が届くので、商談時間にアクセス!  
移動距離はゼロ! 所要時間も商談時の60分程度!

主催/ジェトロ滋賀、ジェトロ大阪本部、ジェトロ上海、滋賀県  
 協力/大阪府、しが水環境ビジネス推進フォーラム、関西・アジア 環境・省エネビジネス交流  
 推進フォーラム (Team-E Kansai)、大阪 水・環境ソリューション機構



## ⑧「ベトナム・ハノイ建設大学と連携した水処理分野ビジネスマッチング」の開催

■開催期間: 令和3年(2021年)12月3日(木)

■開催方法: オンライン

■内容:

- ・ハノイ建設大学内のVietnam Japan Institute of Advance Technology (VJIAT)と連携して開催
- ・VJIAT参加の会員の中で、水処理分野において日本の技術・サービスに関心を持つ現地企業としが水環境ビジネス推進フォーラム会員企業とのビジネスマッチングを実施。
- ・フォーラム企業5社が参加し、12件の商談を行った。



ビジネスマッチングの様子

## ⑨「商社とのビジネスマッチング」の開催

■開催期間: 令和4年(2022年)1月14日(金)

■開催方法: 対面およびオンライン

■内容:

- ・企業が新たに海外展開するにあたっては、現地に拠点や代理店を有しないと継続した商談・交渉等のアフターフォローが進まず、導入・普及に繋がらないことが大きな障壁となっているため、海外に拠点や豊富なネットワークを有する商社としが水環境ビジネス推進フォーラム会員企業とのビジネスマッチングを開催。
- ・フォーラム企業3社が参加し、8件の商談を行った。

## ⑩InterAqua 2022へ「フォーラムパビリオン」として出展

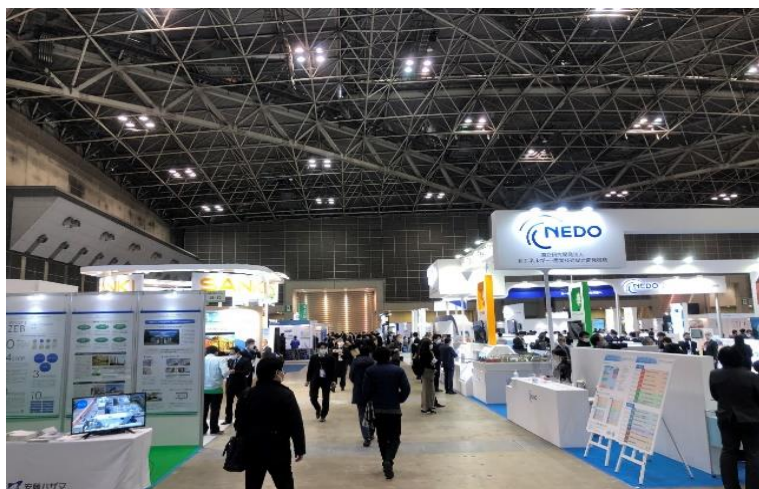
■日程： 令和4年(2022年)1月25日(火)～1月28日(金)

■会場： 東京ビッグサイト

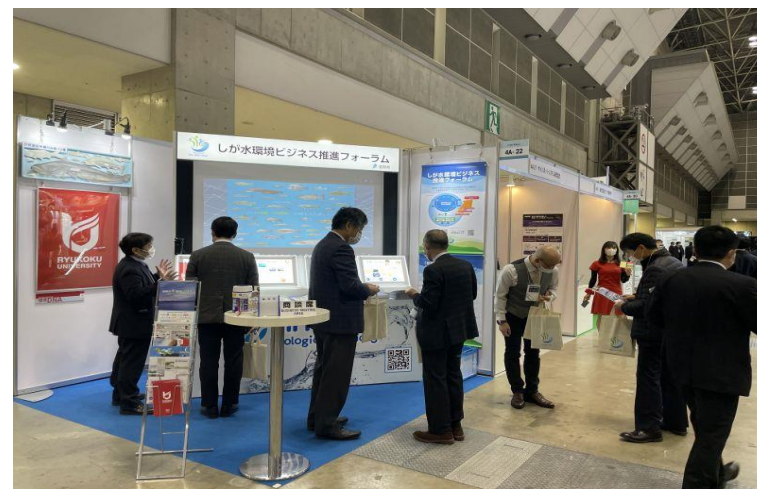
■規模： 72企業・団体が出展。来場者47,692人。

■内容：

- しが水環境ビジネス推進フォーラムの「フォーラムパビリオン」には、2者が出展。
- フォーラム事務局ブースでは、滋賀の水環境ビジネスの取組や滋賀県のこれまでの琵琶湖保全の取組などを紹介。



会場の様子



滋賀県ブース

## ⑪「しが水環境ビジネスセミナー」の開催

■日時： 令和4年(2022年)2月2日(水) 14:00～15:40

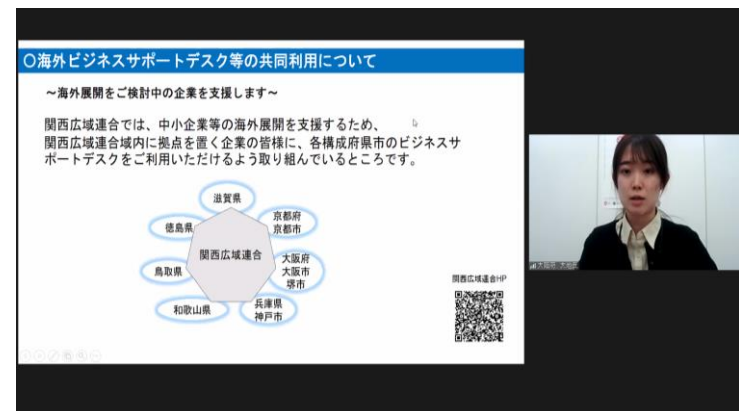
■開催方法： オンライン

■タイトル： 水環境分野の研究動向と水ビジネス海外展開事例

■プログラム：

- ①水処理関連技術の研究紹介と今後の開発動向等について(大阪工業大学 古崎康哲氏)
- ②滋賀県補助金を活用した海外展開事例紹介①(有限会社ヴァンテック 井之口哲也氏)
- ③滋賀県補助金を活用した海外展開事例紹介②(大洋産業株式会社 岡田史朗氏)
- ④海外展開支援施策の紹介(大阪府国際ビジネス・企業誘致課 大地英里花氏)

■参加者： 16名



セミナーの様子

## ⑫「中国・広東省 水処理分野ビジネスマッチング」の開催

- 開催期間: 令和4年(2022年)3月3日(木)
- 開催方法: オンライン
- 内容:
  - ・広東省の佛山早稻田科技服务有限公司の協力により、水処理分野において日本の技術・サービスに関心を持つ現地企業としが水環境ビジネス推進フォーラム会員企業とのビジネスマッチングを実施。
  - ・フォーラム企業4社が参加し、8件の商談を行った。



ビジネスマッチングの様子